

この添付文書は、本剤をご服用になる前に、かならずお読みください。
また、ご服用になる間は、いつでも読めるよう保管しておいてください。

漢方製剤 **ニタンダ** 小青竜湯エキス顆粒

第2類医薬品

しょうせいりゅうとう

「小青竜湯」は、中国の古典医学書「傷寒論」しょうかんろん「金匱要略」きんぎょうりやくに記載されている漢方処方です。鼻水がでたり、くしゃみがでるといった症状は、漢方では水毒症状といえます。ふだん体質的に胃腸・気管や胸脇に水滯(からだの組織、細胞内外の水分代謝異常や水分の偏在)のある人は、特にこのような症状が現れやすくなっています。

「ニタンダ小青竜湯エキス顆粒」は、このような水滯を汗や排尿で調整し、水分代謝機能を改善することによって、気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症に効果を現します。



使用上の注意

相談すること



- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
 - 胃腸の弱い人。
 - 発汗傾向の著しい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位(感冒に服用する場合には5~6日間)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

〈成分・分量〉

1日量3包(9g)中に小青竜湯乾燥エキスが4.2g含まれています。

マオウ(麻黄)	3.0g
シャクヤク(芍薬)	3.0g
カンキョウ(乾姜)	3.0g
カンゾウ(甘草)	3.0g
ケイヒ(桂皮)	3.0g
サイシン(細辛)	3.0g
ゴミシ(五味子)	3.0g
ハンゲ(半夏)	6.0g

より抽出。

添加物として乳糖、セルロース、ステアリン酸マグネシウムを含有する。

〈効能・効果〉

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：
気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症

〈用法・用量〉

次の1回量を1日3回、食前又は食間、なるべく空腹時に服用して下さい。

食間とは・・・食後2～3時間を指します。

年 齢	1回量
15歳以上	1包
7～14歳	2／3包
4～6歳	1／2包
2～3歳	1／3包
2歳未満	服用しないこと

用法・用量に関連する注意

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用して下さい。

※本剤は天然物（生薬）のエキスをを用いていますので、原料の相違により、顆粒の色が多少異なることがあります。効果には変わりありません。

お問い合わせ先

二反田薬品工業株式会社 お客様相談室 TEL 0823-31-1515
受付時間：9時から17時まで（土、日、祝日を除く）



製造販売元

二反田薬品工業株式会社

〒737-0845 広島県呉市吉浦新町2丁目5番2号